

日刊 水浴本年

福島縣石城郡平野村
印刷所
福島縣石城郡平野村
行會
一部金貯金
一ヶ月金貯金五十錢
▲日刊(水浴、祭日)休刊

湯本區會
本日開會
湯本區會は二十日午前十時から
長に祭りあげられたため侮辱する
も甚だしいと憤慨しその辭令を返却したので同派では幹部會
を開いて善後策を講ずる騒動を極めた。

不景氣のうちに終つた
本年の海水浴
小名濱、四倉のバラツクは
何れも大缺損

夏、秋、蠶の出廻り豫想
秋晚秋蠶の出廻り豫想其の如左。

町村	數量	最盛期
四倉町	秋二〇,300	九四
湯本町	秋六,400	一、五
植田町	秋三,000	九、五
上遠野	秋二,000	八、一
平町	秋一,000	九、五
上遠野	夏三,000	九、五
平町	夏二,000	九、五
上遠野	秋二,000	九、五
平町	夏一,000	九、五

が至當である。

第一、第二兩校に

四百坪の二階をあげる

平商校は舊磐中校舎に移轉

昭和三年度豫算に計上

人口増加に伴つて平町の小学校

童は逐年激増し現在では第一、

第二兩校共兒童を全部収容する

事が不可能で、第一校では八學

級、第二校では六學級だけを舊

磐中校舎を假教室として是處に

収容してある有様で教育上不便

の点多くこの假教室を分教場と

す可きか、又は第三小學校とし

て独立せしむべきは平町の重

大問題として論議されてゐる事であ

が始末をつけねばならぬ事であ

るが、平町當局では兩問題を同

時に又現在の平商業學校の移

転も急を要する問題で之も何く

即ちそのうちから第一、第二兩

校に増築する二階の費用約二萬

五千圓を支出しようといふにあ

る、而してこの計劃豫算は昭和

三年度に計上する考であると

不正事實、潜むらし

夏井校基礎工事の請負

根本村長等疑雲に包まる

夏井村では岡村小學校を新築す

る事となり七月下旬建物の入札

を行つたが之が基礎工事の請負

入札は八月上旬に岡村役場で行

つた處入札者は

△平町丸山組一千五百三十圓△

植田町常磐工業會社一千六百七

千三百圓△

當然丸山組に落札請負はすべ

きであるのに何故かこの基礎工

事に當たり七月中に請負は

植田、泉、入達野三小學校では

建築のため簡易保険局に對し資

金融通方を申請中であつたが左

の如く貸付けらるゝ事になつた

處か何れも缺損と云ふ始末であ

る、これは例年バラック第一の不景氣の裡に終つたものと見る

平町の將來を憂へて 敢て爲政者に與ふ

四、福島新聞平支局 渡邊文

更に百敷割附加税に附いて見

るも同様賦課額が漸増一方に

あることはこれまで贅言を要

しない、右の數字を總体的に

見ると十三年度以降は極

度に整理緊縮を行つて來た結

果財政の膨脹も負担の重課も

あまり表面化してゐないが町

の前途に横たはつてゐる市制

の實施を初めとして町役場、

小學校、商業學校の新築そ

の施設を進行する

事に内定、又若松美三氏は赤

名の候補者が石城民政黨から推

す事に内定、又若松美三氏は赤名の候補者が石城民政黨から推

民政派の意図では

候補三名を擁立

余りに冒險的だ

石城民政派に於て来る縣會議員

井村長を辭任して、その退職慰

改選に際し候補者に擁立する可

能金子五百圓を資金に充て、出

人物については目下詮衡中であ

るが、幹部間の意識では現縣議

大平陸四郎氏は最近黨員の人氣

も薄らいで來た観もあり此際同氏

を葬つて植田町の鷲崎昇氏を推

す事に内定、又若松美三氏は赤

名の候補者が石城民政黨から推

ひ更に一戸平均百十六圓八十
錢といふ膨大な借金を持たせ
られてゐる勘定で今後遂行す
べき諸事業施設に要する費用
の捻出の如きも現在の町財政

から見れば全部起債による外
はなかろう。而も町役場の新
建築、小學校、商業學校の改築
等は緊急中の緊急事とされ

一戸も荏苒ゆきない現状に
あり全く財政的破綻に瀕して
ゐる今日、何とか財政上の方

策を樹て、事業計画を進めて
行かねば市制実施の遂行もそ
の如きもこの如きもこの如きも
られない、この危機を救ふべき

如何なる役場が
生れるか

土木委員の苦心

平町役場の新築問題は愈々明年度豫算に計上されんとする機運に及び既報の如く過般の町會に於て設計委員を現土木委員に一任し調査費二千圓により本年度に其建築様式設計圖等の具体的方針を樹立する事となつたので委員は徐に之が調査の歩を進め先づ町會に於て全員一致を以て新築案が決定されんとする際であるから採光、通風其他可及的に町の体面を汚さざる程度の体裁と吏員の執務に不便なき理想的廳舎を建設せんとする意氣込

驚いた!!

こうまで安いことは

加納活版所の印刷物!!

にて結局豫算も大平町役場の体

面を保たしむる以上五萬圓位

達せんと算込まれ既に蒐集され

たる各方面的参考資料により設

計される事となるらしいが尙ほ

同町は殆ど市に近き縣下唯一の

近炭礦界の活躍機に入らんか市

制執行も何時に迫られるやも計

られざる状態にあれば更に第二次の縣外視察をなす必要あるべく諸般に亘りて委員の頭を悩ましてゐるが何れにしても質質本位と共に体裁優秀なる新築役場が建設される筈なれば、永年に亘り高唱されて來た町民一般の希望も茲に漸く其實現の一歩に到達した譯である。

夏の御家庭になくてはならぬ
専賣特許衛生試験所證明
御飯はスエヌ、醤油はカビヌ、酒はクサラヌ。
飲食物一切のクサリとカビ止器 (一個三十錢)

平町四丁目 田中 (電話一四四)

小野屋藥鋪 田中 (電話四三番)

石川亭の柳川

た蔭様で開始以來非常な評判を蒙つてゐます。何卒御贊貢の程願ひ上げます。

御一人前 田中 (電話四三番)

石川亭 田中 (電話四三番)

四十銭



滋養、強壯剤

偉大なる薬酒

栗守酒

栗守酒特約店

山崎合名會社

福島縣平町

東京支店

味と油

味と油

道の

妙の

血を

病を

人を

薬を

大正東洋合會

大正東洋合會

大正東洋合會

◎簡易の金融—誠意と堅實 ◎趣味の貯蓄—共存と共榮
▲絶へず會員を募ります ▲何時でも御申込下さい
大藏省 免許 警城セメント會社特約店

警城無盡商會 本店植田町本丁 支店平町中丁

良品廉價に勝る商略なし!!!

和洋銅鐵 金物問屋 警城平電話九三九番

釜屋商店 警城平電話九三九番

寒暖計 体温計 各種

イマツ蝶取粉 小ボンド一〇〇
度量衡指定販賣人 西村屋藥鋪 代野邊理局

寒暖計 体温計 各種

度量衡指定販賣人 西村屋藥鋪 代野邊理局

耳鼻喉科 大和田醫院

耳鼻喉科 南町 (電話一七〇番)

耳鼻喉科 高久病院

耳鼻喉科 原齒科醫院

耳鼻喉科 土橋通り (電話三一一番)

耳鼻喉科 松南病院

耳鼻喉科 上田外科醫院

耳鼻喉科 上田病院

耳鼻喉科 吉田眼科醫院

耳鼻喉科 赤心堂病院

耳鼻喉科 紺屋町 (電話四七五番)

平町病醫院案內